大島町子ども家庭支援センター　**通信261号**（2023年2月号）

わ～わ・くらぶ

子ども家庭支援センターは、妊娠期～１８歳までの子どもと家庭の総合相談です。子ども本人、保護者、子どもに関わる方、どなたでも相談できます。子育てについて、困っている事や悩んでいることがあれば、どんなことでもお気軽に相談してください。

子育て交流ひろば

○乳幼児親子の出会いの場、ゆっくり過ごせる場所です
○子育ての情報交換や仲間づくり
○子育ての講座や行事
○子どもと家庭の相談も随時、お声かけください
○授乳やおむつ替えが出来るスペースがあります

利用時間　月曜日～金曜日（祝日を除く）
　　９：３０～１６：００
所在地　大島町野増字大宮
電話　０４９９２－２－２３８１
E-mail 050701@town.tokyo-oshima.lg.jp

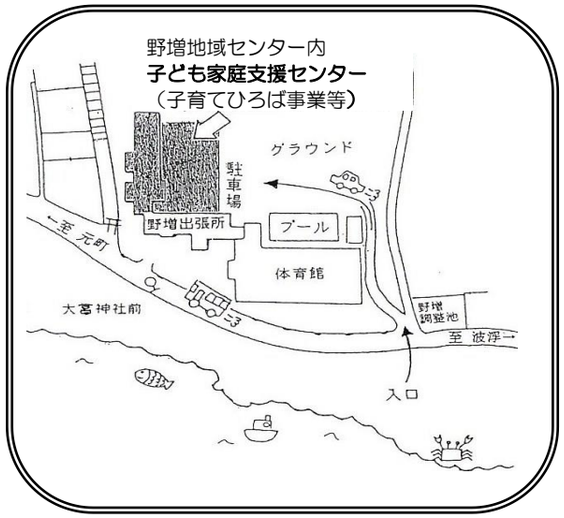
子どもと家庭の相談

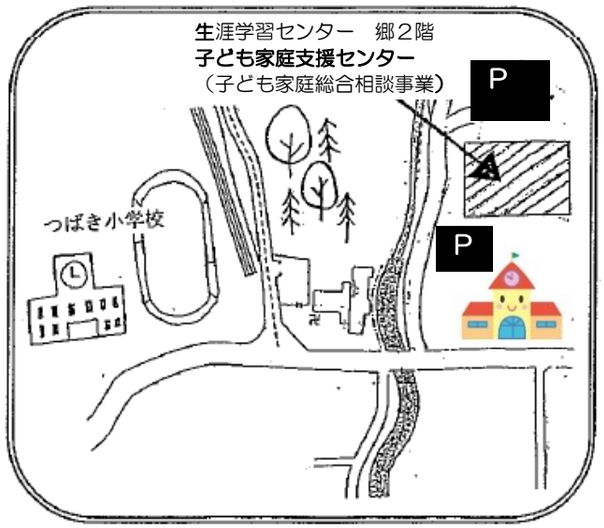
・育児の仕方や子どもとの関わり
・子育ての悩みや家事の事・子どもの発達や行動
・保護者の気持ち　・療育にお困りの時
・子育ての支援についての情報提供
＊相談内容により、他の機関などをご案内する場合もあります。

虐待に関する相談

虐待に気づいたら、虐待が疑われる場合は速やかに連絡相談をしてください。連絡、相談された方が特定されないよう秘密は守ります。

利用時間　月曜日～金曜日（祝日を除く）
　　９：００～１７：００
所在地　大島町元町丸塚５４８－１
　　大島町生涯学習センター・郷２階
電話　０４９９２－２－２３９８
E-mail 050701@town.tokyo-oshima.lg.jp





2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
2月3日は節分　節分とは？ 年４回ある季節の分かれ目のこと。中でも春が始まるとされる立春前日の「節分」が大切とされてきました。それは、新しい春を迎える年迎えの行事であり、疫病や災害を鬼にたとえ、それを追い払う行事でもあるからです。			1	2	3 親子スポット 10:30～	4
5	6 スタンプで作ろう週間始	7	8 身長体重計測日 9:30～	9	10	11 建国記念の日
12	13	14	15	16	17	18 スタンプで作ろう週間終
19 わかば相談	20 わかば相談 ひな人形作り週間始	21	22 身長体重計測日 9:30～	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28 ベビークラス 10:30～	**節分にまく豆は？** 節分の豆まきには炒った大豆が使われますが、これは「魔物の目(魔目)を射る」ことができると考えられ「魔滅」に通じるとされています。「鬼は外！福は内！」のかけ声とともに、鬼を追い払いましょう。			

３日（金）　親子スポット「豆まき」

コロナ感染症予防のため、お庭にて行います。天候不良の場合は玄関テラスにて行います。元気に豆まきを楽しんで、福いっぱいの春を迎えましょう。

６日（月）～１８（土）　スタンプで作ろう週間

いろんなものにスタンプして自分だけのオリジナルなものを作りましょう。

８日・２２日（水）身長・体重計測日　９：３０～１２：００

身長・体重を計測したり、育児の相談等にも応じます。

１９・２０日（日・月）わかば相談　臨床心理士　今村泰洋さん

悩みや困ったことを一人で悩まず相談してみませんか。ご希望の方は早めに２－２３８９に連絡ください。生涯学習センター・郷相談室にて行います。

２０日（月）～３／３（金）ひな人形作り週間

いろいろな材料を用意しておきますので我が家に飾るステキなひな人形を作ってください。

２８日（火）ベビークラス　１０：３０～　栄養士

離乳食やご家族の食事について「Ｑ＆Ａ」等。一緒にお話しましょう。

皆さんにひろばで遊んで頂く為に以下のご協力をお願いします。

●利用当日、親子で体温を計測してください。 発熱（３７，５℃以上）以外に、咳・鼻水・下痢・嘔吐などの体調不良、食欲がない、機嫌が悪いなど、いつもと異なった様子の時は利用をご遠慮ください。
●解熱後２４時間以上が経過し、その他の症状が改善傾向となるまでは、同様の対応をお願いします。併せて、同居家族に発熱や呼吸器症状等の風邪症状がある場合は、利用を控えていただくようご協力をお願いします。
●大人はマスクの着用をお願いします。
●玄関で必ず手の消毒をしてください。受付時に来所者全ての方に検温を実施します。
●帰り際、使ったおもちゃは使用済みおもちゃ用のかごの中に入れるようにしましょう。
※新型コロナウイルス感染状況により、子育てひろば開放、催しなど、急遽中止・変更となる場合もありますので、ご了承ください。

新しい年が始まりました。初日の出、初夢、初詣･･･ その年に「初めて～する」の言葉がたくさんあり、気持ちも新たになったことでしょう。子どもが誕生してからも、たくさんの初めて…があったのではないでしょうか？その「はじめて」は子どもにとっても、親にとっても「はじめて」なのです。その時の気持ちを思い出し 今年も笑顔あふれる年でありますように…と願っています。
子育て応援団の子ども家庭支援センター、子育てひろばをこれからも大いにご利用下さい。
今年もよろしくお願いします。

今すぐほめ上手！

視点を変えてほめ上手でグングン子育て！③

子どものほめポイントに気づこう！

STEP１　子どもの行動に注目する

ほめドコロはいつもしている普通のこと、あたり前のことにあります。あなたがなにかするために努力しているのと同じように、子どもの行動には子どもなりの努力と育ちの積み重ねがあるのです。「これからも続くといいな」と思う行動こそ、ほめるポイントになります。

たとえば こんなところ

- 「ごはんの時に“いただきます”を言えた」
- 「道路を渡るときに左右の確認をした」
- 「あなたの好きな食べ物をみつけて教えてくれた」など

STEP２　子どもの個性に合わせたほめ言葉を

やりすぎかもと思うくらいほめることで、次もがんばる子もいれば、言われることでプレッシャーを感じてしまう子もいます。ほめるときは子どもの個性に合わせてほめ言葉を考えましょう。また、どんなほめ言葉を喜ぶか、など子どもの反応もみておきましょう。

妹に人形を貸してあげることをほめるとしたら

（ぎゅっと抱きしめながら）
（妹）ちゃん、うれしそうだね。
優しくしてくれて
ありがとう

すごーい！
大事なお人形を貸して
くれてありがとう！
パパにもこのこと教えて
あげようね。

遊びたかったのに
ガマンしたね。じゃあ、
別の遊びをしようか

STEP３　次の行動に結びつくようにフォローして見届けよう

ほめたことを次もしてもらいたい場合、ほめた後に次の行動や改善点を目標としてあげてみましょう。次の行動をしようとしているときに声かけをし、やり終えた後でもう一度ほめると１つの行動で２回ほめられ、最後までやりきれるようになります。

たとえば こう言ってみよう

水やりをしてくれたから、
葉っぱも元気になったわ。
明日もまたお願いできる
かな？

まだ片付け中なのかな？
絵本は本棚にしまってく
れたね。じゃあ、車も
車庫に帰ろう！

昨日電気をつけっぱな
しだったけど、今日は
ちゃんと消えてたよ。
約束を思い出せたね。

～ひろば～ １２・１月の窓から

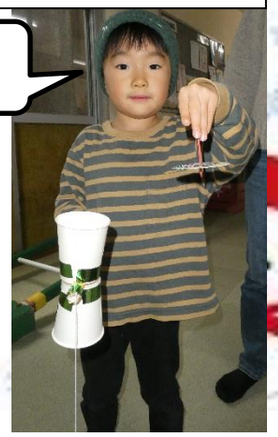
ミニ講座「あかちゃんとママの体をほぐそう」

浜岡氏に自分でできる体の痛みを治す
セルフケアを教えていただきました。

お正月遊びを作って遊ぼう週間

お座り上手
でしょ♡

こまとけん玉
作ったよ！



ほめると叱るのバランス

子どもをほめて育てることはとても大切です。

しかし、ただほめればよい、なんでもほめればよい、ということとは違います。他人に迷惑をかけるようなことや間違ったことはいけないことだと、これから学んでいかなくてはなりません。

なぜ、よくなかったのかをきちんと伝え、どうすればよかったのか示すことが大切です。

ほめる〝と叱る〝のテクニックは似ています。

❶ 子どものした行動を叱る
「お前は悪い子だ」など、人格を否定する言葉は使わず、間違った行動に対して叱りましょう。

❷ その場で短い言葉で叱る
感情的になったりダラダラと長い言葉をかけたりせず、具体的に何が間違っていたかを短く伝えましょう。

❸ ほかの子と比較して叱らない
誰かと比べるのではなく、間違った行動をした時の気持ちを受け入れ、あなたはどう思ったのか伝えましょう。

❹ 次はどうしてほしいかを伝え、改善を見届ける
叱ったことに対して、子どもの行動が少しでも変化していたらそのことを必ずほめましょう。

「ママそばにいてね♡」

３歳までは「自分は大切にされている」という気持ちを育む大切な時期です。ママに抱っこをしてもらったり、「いいこいいこ」と頭を撫でてもらったり、困らせたり、一緒に笑ったり、そのようなことを通じてこの気持ちがうまれます。個性は十人十色。「ありのままの自分をまるごと受け入れられている」という感覚を自己肯定感と言います。「大好きだよ」「とても大切に思っているよ」「楽しいね」「よくできたね」などと赤ちゃんの頃から言葉とスキンシップでママの気持ちを伝えていくといいですね。
日々のそんな時間、ママとの愛着関係が人への信頼関係の土台となり、お子さんが安心して外の世界へ足を踏み出せると思います。お子さんが乳幼児期の今しか経験することのできない大切な時間ですね。ひろばに遊びに来る子どもたちもママがそばで見てくれているから、一緒にいるから安心して遊んでいます。「ママと一緒 」が何よりも子どもの心の栄養になりますよ。